

VOICE

〔ヴォイス〕



ウエダファーム ラザム カイト
湧別町/株式会社ウエダファーム 所有

レークランド ボンチアク ジュデイ 12
湧別町/久保 隆幸氏 所有

JP3H55080 エンデバー ジュデイ ヴォイス

父:ブレイデール ページワイアー ET 母:エンデバー タイタニツク ジュデイ ET VG-85

- 長命性に優れた“コンバース ジュデイ ファミリー”
- 好体型のページワイアー息子牛 ●正確な尻の構造を示し乳器改良効果は全国第4位



●写真撮影/ホルスタインマガジン社



〈業務部〉
TEL(011)242-9645
FAX(011)242-9651
〈改良部〉
乳牛改良課
TEL(011)242-9646

●道北事業所…………… TEL(0166)57-6111 FAX(0166)57-6113
●道東事業所…………… TEL(0153)72-4554 FAX(0153)72-1325
●道央広域事業所 広域 TEL(011)375-4395 FAX(011)375-4411
道央 TEL(011)375-4422
●十勝北見事業所…………… TEL(0156)63-3838 FAX(0156)63-3839

〒060-0004 札幌市中央区北4条西1丁目1番地 北農ビル13F ホームページアドレス <http://www.genetics-hokkaido.ne.jp>

未来を拓く 次世代づくり

発行所: 一般社団法人 ジェネティクス北海道

発行人/松尾 誠之

平成26年11月15日号

Sire

サイア

Vol.409

11
月号

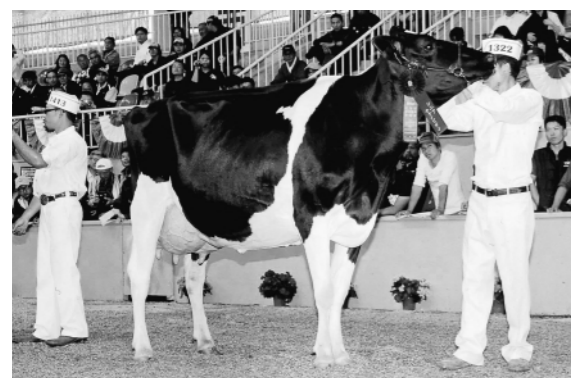


〔共進会〕画:富田 美穂 HP「牛の木版画と絵画」<http://miho-tomita.jimdo.com/>
ブログ「うしのつむじ」<http://usinotumuji.blog28.fc2.com/>

CONTENTS

- 2 北海道総合畜産共進会 — 乳用牛部門
- 6 現場レポート(乳)
「労働力削減のための搾乳ロボット」
- 8 注目のカウファミリー
第21回 ウエルカム マーク レーシー ET EX-91
- 10 第11回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会
- 13 ☆食レポ☆「ラ・レトリなかしべつ」の手作り乳製品
/ ET講習会合格者
- 14 センター便り 精液採取の現場から

第16回北海道総合畜産共進会(乳用牛部門)



部部長の千葉義博氏、アソシエイト審査員は同組合審査部次長の小泉俊裕氏、ジュニアカップ&リードマンコンテスト審査員は(一社)家畜改良事業団十勝種雄牛センター課長代理の福屋茂生氏が務めました。

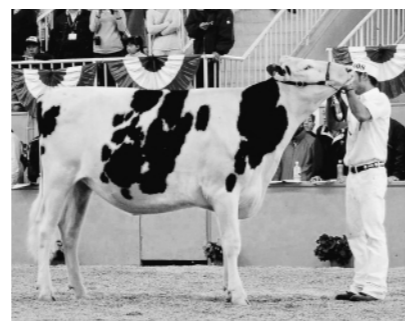
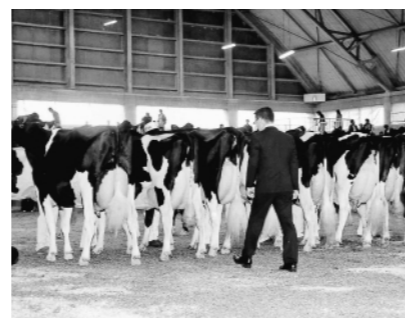
9月27日から28日にかけて、安平町の北海道ホルスタイン共進会場で北海道総合畜産共進会(乳用牛部門)が開催され、ホルスタイン種392頭(未経産150頭・経産242頭)、ジャージー種28頭(未経産15頭・経産13頭)、ジュニアカップ(ホルスタイン種)33頭の計453頭が出場して改良の成果を競い合いました。

オフィシャル審査員は北海道ホルスタイン農業協同組合審査



グラント・チャンピオンには4歳クラスで1等賞1席、なおシニア・チャンピオンを獲得した釧路市(株)敬和ファーム出品の「KWF サンチエリア ダーハムビュー」、リザーブ・グラント・チャンピオンには5歳クラスで1等賞1席、なおリザーブ・シニア・チャンピオンを獲得した津別町柏葉俊氏出品の「オークリーフサラFBI」が輝きました。

当団種雄牛では、JP3H53584 ミッドフィールドCCM アイオンの娘牛が63頭(未経産39頭・経産24頭)出場し、3年連続の最多出品となりました。その中で大樹町の木村達也氏出品の「ロイヤルランド ジューデイ スター アイオン」は未経産シニアクラスの1等賞2席でリザーブ・ジュニア・



チャンピオンを獲得しました。また後代検定娘牛ジュニアミドルクラス、後代検定娘牛2歳クラス、後代検定娘牛3歳クラスでそれぞれ1等賞1席となるなど活躍が目立ちました。

その他、JP3H53999 ジレット ティーウエーブ スパークリング ETの娘牛が25頭(未経産23頭・経産2頭) JP3H53998 ジレット ティーウエーブ スプラツシュ ETの娘牛が7頭(未経産4頭・経産3頭)出場して、それぞれ3頭が1等賞に入賞しました。

各チャンピオン牛は以下とおり。カッコ内は父と出品者(敬称略)。

ホルスタイン種部門

【グラント・チャンピオン&シニア・チャンピオン】

KWF サンチエリア ダーハム ビュー (ジエンマーク ストーマテイツク サンチエス (株)敬和ファーム 釧路市)

【リザーブ・グラント・チャンピオン&リザーブ・シニア・チャンピオン】

オークリーフ サラ FBI (ジレット ブライリー エフビー アイ ET 柏葉俊 津別町)



【ジュニア・チャンピオン】

TMF ナデイル アツト アンナ エコー (メープルダウンズアイ G W アツトウツド ET (有)田中牧場 清水町)

【インターミディエイト・チャンピオン】

TLM GO ウイントリニティ ET (ブレイテール ゴールドウイン 十勝ライブストックマネージメント 帯広市)

【リザーブ・ジュニア・チャンピオン】

ロイヤルランド ジューデイ スター アイオン (ミッドフィールド CCM アイオン 木村達也 大樹町)

【リザーブ・インターミディエイト・チャンピオン】

TMF セジス イルミナ ダミオン デューク (アーバクレス ダミオン (株)瀬能牧場 岩見沢市)

ジャージー種部門

【ジュニア・チャンピオン】

グリークエスト MMC リッチ ミニスター (セレクトスコット ミニスター ET 坪井新奈 弟子屈町)

【シニア・チャンピオン】

J ライトホープ リギンズ ネルル ET (ブライドン リメイク コメリカ ET 加藤聖壘 帯広市)

【リザーブ・ジュニア・チャンピオン】

ケニフロウ セレクト ミニスター ローラ ET (セレクトスコット ミニスター ET 加藤聖壘 帯広市)

【リザーブ・シニア・チャンピオン】

キャミオー アクシオン イアトラ (フォレスト グレン アベリー アクシオン ET 岩田政彦 北広島市)

ジュニアカップ

【チャンピオン】

サニーフィールド インディー アツト ポリー (メープルダウンズアイ G W アツトウツド ET 出品者:須田空流 帯広市/所有者:野原幸治 帯広市)

【リザーブ・チャンピオン】

DH カウンテス レラ (ジエネベーションス レキシコン ET 出品者:山内雅斗 北見市/所有者:山内隆 北見市)

当団種雄牛娘牛出品頭数一覧

略号	名号	未経産	経産	合計
JP3H53584	ミッドフィールド CCM アイオン	39	24	63
JP3H53999	ジレット ティーウエーブ スパークリング ET	23	2	25
JP3H53998	ジレット ティーウエーブ スプラツシュ ET	4	3	7
JP3H53008	サンデイバレー ブルーブラッド ET	1	3	4
JP3H54510	ローマンヒル ボルテージ マツクス	3		3
JP3H53959	ヘンカシーン ゴールド ドリーム		2	2
JP3H54233	ノリツタ エアロスター リードマン ET	1	1	2
その他 (17種雄牛)		7	10	17
合計		78	45	123

第16回 北海道総合畜産共進会

GH検定済種雄牛娘牛1等賞入賞牛

JP3H53584 ミッドフィールド CCM アイオーン

リザーブ・ジュニア・チャンピオン

未経産シニアクラス1等賞2席



ローヤルランド ジューデイ スター アイオーン 大樹町/木村達也氏出品



ジュニアカップ育成シニアクラス
1等賞5席

カナリー アイオーン チョイス
上土幌町/橋本佳奈氏出品



後代検定娘牛ジュニアクラス
1等賞2席

ヨシノファーム ジャーランチェ アイカ
北見市/吉野英之氏出品



後代検定娘牛ジュニアクラス
1等賞5席

インフニッテール DD テイナ ジャスリン
幌延町/無量谷稔氏出品



後代検定娘牛ジュニアミドルクラス
1等賞1席

バレルファーム ミラクル ジャグラ
北見市/神田典廣氏出品



後代検定娘牛ジュニアミドルクラス
1等賞2席

インブルシユウツド メモリー アウルト
厚岸町/内柴栄輔氏出品



後代検定娘牛ジュニアミドルクラス
1等賞3席

MM クリスタン テイストライ アイオーン
別海町/芳賀牧男氏出品



後代検定娘牛ジュニアミドルクラス
1等賞4席

マルベリー ブルービル アイオーン キット
上土幌町/小椋直樹氏出品



未経産ミドルクラス
1等賞3席

ハイロード ドラモンド アイリス
上土幌町/小椋直樹氏出品



後代検定娘牛2歳クラス
1等賞1席

ビューティ アサルトスカイ ハーゲン RED ET
鹿追町/高田泰輔氏出品



後代検定娘牛2歳クラス
1等賞2席

センバ アイオーン コンケスト
天塩町/泉波展幸氏出品



後代検定娘牛2歳クラス
1等賞3席

YMD チュンキー アイオーン ルツクス
別海町/山田博和氏出品

JP3H53584 ミッドフィールド CCM アイオーン



後代検定娘牛3歳クラス
1等賞1席

ウエンティヒース イシカゼ ミルウォーキー
清水町/小坂洋平氏出品



後代検定娘牛3歳クラス
1等賞2席

ミッドフィールド EK アイオーン テラ
江別市/中田和孝氏出品



後代検定娘牛3歳クラス
1等賞3席

ヘールストーン BD アイオーン ガール
幌延町/富樫悠輔氏出品

JP3H53999 ジレット ティーウェーブ スパークリング ET



未経産シニアミドルクラス
1等賞2席

フロレックス アフター スパーク ジョテイ ET
中札内村/森瀬嗣氏出品



未経産シニアクラス
1等賞3席

ドラマチック スパークリング
広尾町/広瀬康史氏出品



後代検定娘牛2歳クラス
1等賞6席

フラーリッシュ スパーク ハット
中標津町/福岡寿顕氏出品

JP3H53998 ジレット ティーウェーブ スプラッシュ ET



後代検定娘牛ジュニアクラス
1等賞1席

MF サンチエス スプラッシュ ホープ
中札内村/(有)みどり牧場出品



後代検定娘牛ジュニアクラス
1等賞4席

DH ナショナル スプラッシュ
北見市/山内誠氏出品



後代検定娘牛2歳クラス
1等賞5席

マチムラ ロベス スプラッシュ イリー
江別市/(株)町村農場出品

JP3H53959
ヘンカシーン ゴールド ドリーム



後代検定娘牛2歳クラス
1等賞4席

スターク ドリーム テイクシーリー
佐呂間町/Lake View ホルスタイン出品

JP3H55057
ALH シドニー デスチニイ ET



後代検定娘牛3歳クラス
1等賞4席

アローメーブル ローラ ジエイミイ デスチニイ
根室市/矢部謙治氏出品



Congratulations!

「労働力削減のための搾乳ロボット」

～導入農家を訪ねて～

はじめに

近年、搾乳ロボットを導入する酪農家が年々増加しており、道内では現在144戸の酪農家が導入しています。十勝管内では、平成15年度に23戸だった導入農家が、10年間で45戸62基に増加しています(十勝畜産統計より)。

今回、帯広市から車で30分ほどの所にある中札内村で、搾乳ロボットを導入されている佐伯牧場様と森淑嗣牧場様にお話を伺いました。中札内村には大規模の酪農家が軒を連ねています。また、枝豆の生産では全国的に有名です。

佐伯良牧場



佐伯牧場が搾乳ロボットを導入したのは平成21年11月。収入増を図るために増頭を決め、当初つなぎ牛舎の増築も考えたが、フリーストール牛舎を建設することにしました。しかし、3人で100頭の搾乳をするのは大変なため、ロボットの導入を決めました。現在、搾乳牛90頭、育成牛100頭(預託含む)、乾乳牛20頭の計210頭を飼養しており、ロボット牛舎で60頭、つなぎ牛舎では分娩直後や治療牛を30頭ほど

搾乳しています。平均日乳量は34kg程とのことでした。

導入当初、佐伯さんご自身も牛たちも生活のリズムが出来上がるまで、数ヶ月かかりました。フリーストール牛舎での生活を知らない牛は通路で寝ることがあり、バーンスクレーパーの事故にあったことも。また、乳房が張っているにも関わらずロボットに入らない牛を、人間の手でロボットに追い込まなければならなかった。今はどの牛もすっかり慣れて、分娩後の牛がフリーストール牛舎に戻っても覚えていて、初産牛も周囲を見て自然と覚えました。



ターンテーブル式搾乳ロボット (LELY ASTRONAUT(レリー アストロノート)A2型)



ツインホース及びライナー

『搾乳時間はつなぎ牛舎のみの時と比較して半分になりました。ロボット牛舎は1日2回の給餌とベッドメイキングで朝晩計3～4時間で、総頭数の増加により仕事量は増加したものの、全体の作業時間に変化はない。』とのことでした。

ロボットのメンテナンスは年6回で、費用は1年目に120万円、2年目以降は機械系統に65万円+システムメンテナンスに10万円かかります。コンピュータの故障は殆どなく、エアホースやライナー等の修理が大半だそうです。ミルクシステム(T4C)は、ネット回線で本社と繋がっており、24時間のサポート体制が確立されており、コンピュータ異常に関しては遠隔操作が可能とのことでした。

ロボットの導入により、過搾乳等の物理的な要因による乳房炎が減少したそうです。また、牛床マットとコンクリートの隙間に水が溜まり衛生上良くないことから、小まめなベッドメイキングを心がけるようになり、常に牛床が乾燥した状態を保つことが出来るようになったとのことでした。蹄浴槽を設置し、蹄病予防にも余念がないとのことでした。また、ロボット導入による牛の気質の変化は、基本的になかったそうです。

また、当牧場は当団の交配相談サービスをご利用いただいております。きっかけは、増頭のための購入牛増加により近交係数の把握が困難になったことで、現在は、当団種雄牛JP3H54722「SP」、GH-X(性選別精液)はJP3H53655「ジアンピ」やJP3H54579「スペシャルマン」を使用いただいております。これらの種雄牛を選んだのは、娘牛がターンテーブル式の搾乳ロボットに適しているからとのことでした。サイズ

が中程度で肢蹄及び後乳頭の配置に重点を置き、これらはつなぎのみで管理していた時には重視していなかった形質だそうです。

森淑嗣牧場



森牧場はショウにも取り組んでおり、今年9月の北海道総合畜産共進会乳用牛部門では、当団種雄牛JP3H53999「スパークリング」の未経産の娘で「フォレックスアフター スパーク ジョディE」号が1等2席、10月の北海道ウインターフェアにおいてはリザーブジュニアチャンピオンに輝く好成績を収めました。牧場の規模は、経産牛130頭(内乾乳牛17頭)、育成牛115頭の計245頭で、森氏、奥さん、お母さんの3人で経営しています。平均日乳量は33kg、平均産次数は2.4産で最高齢は10産の牛だそうです。搾乳ロボットに加え、給餌、餌寄せにもロボットを使用しています。

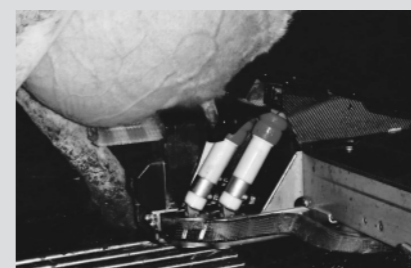
平成15年12月に1台目、翌年10月に2台目のロボットを導入し、平成23年には2台とも新型機へと入れ替えました。導入のきっかけについて、『酪農家の作業の中で最も大変な搾乳作業の手間を省きたかった点と、過搾乳による乳頭への傷害を減らしたかったため』と語る森さん。現在は100%ロボットによる搾乳で、日平均3.4～4回の多回搾乳です。乳房

への負担が減り過搾乳も無くなったため、乳房炎による治療牛は殆どおらず、何らかの治療を受ける牛は年間で10頭程度だとのことでした。初乳はバルクとは反対側に置かれたバケツに流れるよう設定され、出荷停止中の牛乳は廃棄するよう設定されていました。

新型機はアーム式で、ミルククロウがなく、各ツインホースが独立した状態でジャーに繋がっています。そのためライナーズリップをおこしても他の乳頭には影響せず、更なる乳房炎の減少に繋がったそうです。また、旧型では牛の出入りが斜めであったため、牛の追い込みが必要であったことと、ツインホースが露出しており牛の脚に引っ掛かりホースの離脱事故が頻発し手間がかかったのに対し、新型機ではそれらが改善され、操作性も良くなったとのことでした。



アーム式搾乳ロボット (LELY ASTRONAUT(レリー アストロノート)A4型)



アーム及びライナー

導入当初は、周囲に導入している酪農家がなかったため、全てが手探り状態で大変苦労なされたそうですが、今では搾乳と給餌を

ロボット任せにしてしまうことから、牛を意識的に観察する時間が増えたそうです。発情や体調不良の牛の発見は、首に装着されたモーションキャプチャーのようなものにより反芻回数及び活動量を計測することで管理していました。

ロボットの導入により、つなぎではうるさかった牛も人慣れするようになったそうで、全体的に牛が人を怖がらなくなったそうです。

また、当団の交配相談サービスもご利用いただいております。当団種雄牛JP3H54828「レガリア」の一般精液とGH-X(性選別精液)ともに使用中です。その大きな理由として好タイプであること、そして乳頭配置、乳頭の長さが理想的であることなどを挙げていただきました。牧場で導入しているロボットはアーム式で、上下の稼働域が広いので、体高、乳房底面の高い種雄牛も問題ないそうです。また、今後長命性、坐骨幅、そして肢蹄の角度の改良に優れたJP3H54836「バルストRED」、高成分のJP3H54111「ラック」の使用も考え中とのことでした。

最後に

近年の乳牛改良により後乳頭の配置が内付になる傾向にあり、ロボットだけでなくパーラーや自動離脱の牧場においては種雄牛の選定に苦労されているようで、今後の乳牛改良について今一度考えることが出来ました。

今回取材にご協力いただいた佐伯良様ならびに森淑嗣様には、心より御礼申し上げます。

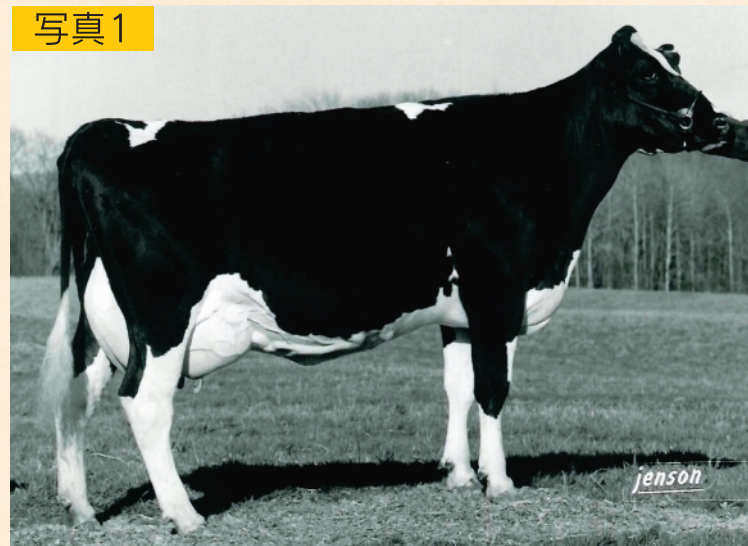
(十勝北見事業所 橋本優子)

第21回

系統図

ウエルカム マーク レーシー ET EX-91

写真1



今回紹介するのは、現在日本のゲノミック評価値において上位にランキングしている、“ウエルカム マーク レーシー”ファミリーです。当ファミリーは、ニューヨーク州の州都アルバニーから北へ1時間程のシェイラービルに位置するウエルカム・ストック牧場において繁栄しています。当牧場は北米で屈指のブリーダーであり、過去には種雄牛ウエルカム ガーターやH-3092 ウエルカム ブラックスター ラビツシュ等を輩出しました。

当ファミリーは、斉一性に富み、正確かつデイリーなフレームに付着の強い乳器を付けた体型改良に定評のある血液で、EX・VG牛を多数輩出しています。最初に日本に導入された血液はウエルカム マーク レーシー ET【写真1】によるものでした。それから5世代目のウエルカム マグナローン ET【写真6】は初産でオーマンによる娘牛ウエルカム オーマン レデイ【写真7】を分娩し、好体型・高乳成分率を初産時から発揮しました。ローンからは3頭のEX娘牛が誕生しましたが、その中で最も多くの子孫を残したのがレデイでした。レデイは体長があり、極めて正確な肢蹄と厚い蹄床を持ち、現在でも肢蹄の評価値が+3.0を超えるエリートカウです。耐久性に富んだ肢蹄は当ファミリーの特長の一つであり、彼女はその優れた体型改良が評価されて20頭以上の

雄牛をAIセンターへ送り出しています。また、ローンのフルシスターの枝葉からは、オースタイル×ニフテイ×シヨツテルといった血統構成のウエルカム オースタイルロニー ETが現在CTPI+2304で第88位に位置しており、彼女の娘牛達は軒並みGTPI+2300を超える高ゲノミック評価を持っています。

レデイのバクスターによる娘牛ウエルカムバクスター ライラ ET【写真8】は鮮明なフレームに機能的な乳器を備え、2歳1カ月でVG-87点を獲得しました。産次を重ねても、付着の強い乳器を保ち、5歳時にはEX-91点を獲得しています。

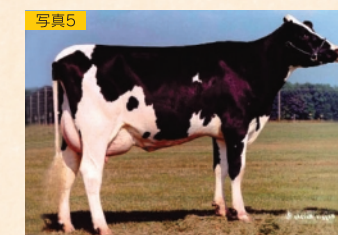
当時アメリカのヤングサイアで第2位のシヨツト・アルをライラに交配した娘牛ウエルカム アルローレル【写真9】は、優れた乳用強健性と正確な骨格構造、そして極めて付着の強い乳器を備えていました。彼女は初産で1万kgを突破し、特に乳脂率において高い値を示し、3歳時にはEX-90点を獲得して5代連続EXとなりました。

当団では平成23年度に種雄牛造成を目的として、ニューヨーク州のコピスタ牧場で繋養されていた未経産時のローレルと契約しました。当時ヤングサイアとして供用され始めたブツケムによる受精卵を導入し、1頭の雄と3頭の雌が誕生しました。これら娘牛3頭は2014年8月公表の日本の未経産牛ゲノミック評価値において、いずれも上位10位以内に入り、日本での高ゲノミック評価を確かなものにしていきます。世代を重ねた今でもローレルやライラ、レデイは依然として高インデックスを維持しており、当ファミリーの遺伝能力の高さを裏付けていると言えるでしょう。

日本の評価にも適応したレーシーファミリーは、今後国内での更なる評価と繁栄に注目が集まるエリートカウファミリーです。

♀ ウエルカム マーク レーシー ET EX-91 (S:チーフ) 【写真1】

- ♂ ウエルカム ブラックスター ラビツシュ ET (S:ブラックスター) H-3092
- ♀ ウエルカム ブラックスター ラツス ET VG-88 (S:ブラックスター) 【写真2】
 - ♀ ウエルカム ベルマン レース EX-90 (S:レース) 【写真3】
 - ♀ ウエルカム ルーク ローレツタ ET VG-88 (S:アルタルーク) 【写真4】
 - ♀ ウエルカム ジェフ ロンニス ET EX-91 (S:ロンニス) 【写真5】
 - ♀ ウエルカム マグナ ローン ET EX-91 (S:マグナ) 【写真6】
 - ♀ ウエルカム オーマン レデイ EX-91 (S:オーマン) 【写真7】
 - ♀ ウエルカム バクスター ライラ ET EX-91 (S:バクスター) 【写真8】
 - ♀ ウエルカム アル ローレル EX-90 (S:アル) 【写真9】 GTPH+2130
 - ♀ ベイリツチランド ソメイ ローレル ET (S:ブツケム)
 - ♀ ベイリツチランド サクラ ローレル ET (S:ブツケム) 【写真10】
 - ♀ ティーユー DB ライラツク ET (S:ブツケム)
 - ♀ ウエルカム ラツセル リスベス ET VG-87 (S:ラツセル) GTPH+2226
 - ♀ ウエルカム カンクン レクシー ET VG-86 (S:カンクン)
 - ♀ ウエルカム シヤムロツク レオナ ET VG-88 (S:シヤムロツク) GTPH+2226 【写真11】
 - ♀ SEA-LAKE オーシヤン レナ ET (S:シヤン)
 - ♀ ウエルカム スーパーサイア レオタ ET (S:スーパーサイア) GTPH+2303
 - ♀ ウエルカム ロジャーズ ローラ フタゴ (S:ロジャーズ)
 - ♀ ウエルカム ロジャーズ ルル フタゴ (S:ロジャーズ) GTPH+2261
 - ♀ ウエルカム オニクス レーン フタゴ EX-90 (S:オニクス)
 - ♀ ウエルカム オニクス リン フタゴ EX-90 (S:オニクス)
 - ♀ ウエルカム マグナ ルノーアー ET EX-90 (S:マグナ)
 - ♀ ウエルカム シヨトル ライネツクス ET EX-90 (S:シヨツテル)
 - ♀ エムエスウエルカム エムエム ルリータ クリ ET VG-85 (S:マンオーマン) GTPH+2276
 - ♀ エムエスウエルカム オブザーバー ローラ VG-85 (S:オブザーバー)
 - ♀ エムエスウエルカム オブザーバー ローリ ET VG-88 (S:オブザーバー) GTPH+2156
 - ♀ ウエルカム シヨツテル ローラ ET (S:シヨツテル)
 - ♀ ウエルカム ニフテイ ロリータ ET VG-87 (S:ニフテイ)
 - ♀ ウエルカム オースタイル ロニー ET VG-87 (S:オースタイル) CTPH+2304 第88位
 - ♀ ウエルカム マスカリース ローレル (S:マスカリース)
 - ♀ ウエルカム プレステイン ロツト ET (S:プレステイン) GTPH+2277
 - ♀ ウエルカム デターミン ルシード ET (S:デターミン) GTPH+2306
 - ♀ ウエルカム タンゴ ロナ (S:タンゴ) GTPH+2463



第11回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会

平成26年10月4日に第11回目の当回黒毛和種枝肉共励会が、117頭(一般牛の部88頭、後代検定牛の部29頭)の出品のもと盛大に開催されました。

今回枝肉の審査委員長をお願いしました、公益社団法人 日本食肉格付協会の北海道支所帯広事業所 長谷川所長から、以下の様な総評と入賞牛講評をいただきました。

総評

去勢の出品は85頭で、平均枝肉重量は468.5kgで前回より11.2kg大きくなっており、脂肪交雑(以下、BMS No.)の平均値は6.9で、前回の6.5を0.4ポイント上回る成績となっており、全国平均値6.0を0.9ポイント上回っております。「4」等級以上の適合率(以下、上物率という)は76.5%で、前回の70.2%を6.3、全国平均66.3%を10.2ポイント上回っております。

雌の出品は32頭で、平均枝肉重量は441.8kgで前回と偶然にも全く同じでしたが、ばらの厚さが若干厚くなっており、上物率は71.9%で前回は17.1%上回りました。BMS No.平均は6.6で、前回の5.9を0.7ポイント上回る成績でした。

今回の共励会は、前回をはるかに上回る好成績で、これは皆様の努力の賜物と大変喜ばしい結果となっております。

名誉賞

栄えある【名誉賞】に輝いたのは、一般牛の部に出品され新冠町有牧野(新冠町)出品の『北茂安乃大福』号でした。H黒-93「北茂安93」×JB-24「北乃大福」×「北国7の8」の血統構成の去勢牛で、枝肉重量465kg、胸最長筋面積64cm²、ばらの厚さ8.3cm、皮下脂肪1.8cmで歩留基準値75.8、BMS No.は今回最高の12番で「A-5」等級に格付されました。

外観は厚く幅が有り、長さも適度で非常に体型の良い枝肉でした。切開面は、ロース芯と周囲筋に脂肪交雑が

まんべんなく入っており、肉色「3」番で、光沢があり、締りが良く、また、内面脂肪の付着状態も均等でむらなく、モモ抜けも期待できる名誉賞にふさわしい枝肉であり、審査員全員一致で選出されました。

○一般牛の部

最大出品はH黒-80「北平安」の44頭で、次いで「北乃大福」の18頭、「北茂安93」の12頭でした。

【最優秀賞】には山田貴赦さん(幕別町)出品の『北菊』号(父「北平安」去勢)が選出されました。外観は名誉賞同様、厚み幅が有り長さ適度で、依型をしており、ロース芯の脂肪交雑充分で光沢良好な枝肉になっており、特にロース芯の形状が良くバラの厚さも9.0cmと厚く、名誉賞と比較したところ、BMS No.で若干劣ったため惜しくも最優秀賞となりました。

今回、H黒-187「勝早桜5」の去勢2頭が出品されましたが、平均枝肉体重493.5kg、BMS No.平均が9.0の好成績でした。特に(地独)北海道立総合研究機構 畜産試験場(新得町)出品の『勝早桜12の21』は育成期にグラスサイレージ、肥育期にデントコーンサイレージの試験牛にもかかわらずBMS No.11で【優良賞】に選出されました。

○後代検定牛の部

将来の種雄牛候補である現場後代検定中の枝肉が出品される事で注目される部です。

今回はH黒-199「晴国花」、H黒-206「安照藤」、H黒-208「北福秀」、H黒-211「茂秀紅葉」の4頭が後代検定の部にエントリーされました。

【最優秀賞】には二瓶義則さん(幕別町)出品の『栄386』号(父「茂秀紅葉」去勢)が選出されました。BMS No.10で中小の脂肪交雑がまんべんなく入っており、胸最長筋面積も70cm²と大きく充分に交雑が見られ、光沢良く良好な肉質となっております。特にバラの厚さが8.5cmと厚くバラの中心部の筋肉である腹鋸筋の厚さが4.6cmと充実していたのが目立ちました。

優秀賞、優良賞も獲得した「茂秀紅葉」は北海道育種価脂肪交雑順において平成20年8月評価より5期にわたって1位を記録した「もみじ」の孫にあたります。当共励会を終えた時点での成績は、上物率86.7%となっており、来年の3月に現場後代検定の成績が全て判明します。

その他、優良賞を獲得した「安照藤」(安平照×第1花国×安福165の9)は、母「ふじふくの4」の兄弟がBMS No.12を記録し、第5回全農肉牛枝肉共励会において枝肉重量506kg、ロース芯面積70cm²で名誉賞を受賞しています。当共励会終了時点では上物率81.5%、平均BMS No.7、平均枝肉重量465kgと「勝早桜5」の現場後代検定成績を上回る成績をおさめており、残りの材料牛(来年1月検定終了予定)の成績に期待しております。

また出品牛雌4頭のBMS No.平均が7.8で上物率100%と好成績だった「晴国花」(平茂晴×第1花国×北国7の8)は12月に検定終了予定です。

本共励会の開催にあたり、ご協力いただいた肥育農家・関係団体の皆様に心より感謝申し上げます。

第11回 ジェネティクス北海道 黒毛和種枝肉共励会 入賞者一覧表

| 褒賞 | 父 | | 母の父 | 母方祖父 | 性別 | 月齢 | 格付 | 枝肉重量(kg) | ロース芯面積(cm ²) | ばらの厚さ(cm) | 皮下脂肪厚さ(cm ²) | 歩留り基準値(%) | BMS No. | 肥育者 | | |
|---------|--------|--------|-------|-------|------|------|------|----------|--------------------------|-----------|--------------------------|-----------|---------|------------------------------|--------------------------------|----------------|
| | 略号 | 名号 | | | | | | | | | | | | | | |
| 名誉賞 | H黒-93 | 北茂安93 | 北乃大福 | 北国7の8 | 去勢 | 30.5 | A-5 | 465 | 64 | 8.3 | 1.8 | 75.8 | 12 | 新冠町
新冠町有牧野 | | |
| | 一般牛の部 | 最優秀賞 | H黒-80 | 北平安 | 平茂勝 | 安平 | 去勢 | 27.7 | A-5 | 465 | 81 | 9 | 1.7 | 78.6 | 11 | 幕別町
山田 貴赦 |
| | | 優秀賞 | H黒-80 | 北平安 | 安福勝 | 平茂勝 | 去勢 | 28.8 | A-5 | 475 | 69 | 8.8 | 2.6 | 76.1 | 10 | 幕別町
小田嶋 文之 |
| | | 優良賞 | H黒-80 | 北平安 | 勝忠平 | 福栄 | 去勢 | 29.3 | A-5 | 502 | 73 | 9.1 | 2.6 | 76.3 | 9 | 中富良野町
安井 泰嗣 |
| 後代検定牛の部 | 優良賞 | H黒-187 | 勝早桜5 | 北安茂 | 安平 | 去勢 | 31.5 | A-5 | 476 | 67 | 7.4 | 2.3 | 75.0 | 11 | 新得町
(地独)北海道立総合研究機構
畜産試験場 | |
| | 最優秀賞 | H黒-211 | 茂秀紅葉 | 忠富士 | 第1花国 | 去勢 | 28 | A-5 | 498 | 70 | 8.5 | 1.7 | 76.4 | 10 | 幕別町
二瓶 義則 | |
| | 優秀賞 | H黒-211 | 茂秀紅葉 | 安福久 | 勝忠平 | 去勢 | 26.8 | A-5 | 413 | 73 | 7.7 | 1.6 | 77.5 | 9 | 新得町
有限会社 上田畜産 | |
| | 優良賞 | H黒-211 | 茂秀紅葉 | 平茂勝 | 美津福 | 去勢 | 28.1 | A-5 | 489 | 69 | 8.2 | 1.6 | 76.4 | 8 | 平取町
賀集 昭知 | |
| 優良賞 | H黒-206 | 安照藤 | 勝忠平 | 平茂勝 | 去勢 | 28.6 | A-4 | 603 | 82 | 8.3 | 2.6 | 75.7 | 7 | 大樹町
(公財)北海道農業公社
十勝育成牧場 | | |

部門別枝肉成績表

【一般牛の部】

| 性別 | 頭数 | 出荷月齢 | 枝肉重量(kg) | ロース芯面積(cm ²) | バラ厚(cm) | 皮下脂肪厚(cm) | 歩留り基準値(%) | BMS No. | BCS No. | 上物率 |
|----|----|------|----------|--------------------------|---------|-----------|-----------|---------|---------|-------|
| 去勢 | 65 | 29.4 | 470.4 | 64.6 | 8.3 | 2.5 | 75.2 | 7.1 | 3.8 | 81.5% |
| 雌 | 23 | 29.0 | 441.6 | 62.6 | 8.4 | 3.1 | 74.9 | 6.6 | 3.9 | 69.6% |
| 全体 | 88 | 29.3 | 462.9 | 64.1 | 8.4 | 2.7 | 75.1 | 7.0 | 3.9 | 78.4% |

【後代検定牛の部】

| 性別 | 頭数 | 出荷月齢 | 枝肉重量(kg) | ロース芯面積(cm ²) | バラ厚(cm) | 皮下脂肪厚(cm) | 歩留り基準値(%) | BMS No. | BCS No. | 上物率 |
|----|----|------|----------|--------------------------|---------|-----------|-----------|---------|---------|-------|
| 去勢 | 20 | 28.0 | 462.2 | 61.7 | 7.5 | 2.0 | 74.8 | 6.3 | 4.0 | 60.0% |
| 雌 | 9 | 29.5 | 442.2 | 63.9 | 8.1 | 2.3 | 75.6 | 6.6 | 4.1 | 77.8% |
| 全体 | 29 | 28.4 | 456.0 | 62.3 | 7.7 | 2.1 | 75.1 | 6.3 | 4.0 | 65.5% |

【全体】

| 性別 | 頭数 | 出荷月齢 | 枝肉重量(kg) | ロース芯面積(cm ²) | バラ厚(cm) | 皮下脂肪厚(cm) | 歩留り基準値(%) | BMS No. | BCS No. | 上物率 |
|----|-----|------|----------|--------------------------|---------|-----------|-----------|---------|---------|-------|
| 去勢 | 85 | 29.1 | 468.5 | 63.9 | 8.1 | 2.4 | 75.1 | 6.9 | 3.9 | 76.5% |
| 雌 | 32 | 29.2 | 441.8 | 63.0 | 8.3 | 2.8 | 75.1 | 6.6 | 3.9 | 71.9% |
| 全体 | 117 | 29.1 | 461.2 | 63.6 | 8.2 | 2.5 | 75.1 | 6.8 | 3.9 | 75.2% |



前列左より
 後代検定牛の部 最優秀賞 幕別町 二瓶義則さん
 名誉賞 新冠町 新冠町有牧野
 一般牛の部 最優秀賞 幕別町 山田貴赦さん

後列左より
 後代検定牛の部 優良賞 平取町 賀集昭知さん
 後代検定牛の部 優良賞 大樹町 (公財)北海道農業公社 十勝育成牧場
 一般牛の部 優秀賞 新冠町 有限会社 上田畜産
 一般牛の部 優秀賞 幕別町 小田嶋文之さん
 一般牛の部 優良賞 中富良野町 安井泰嗣さん
 一般牛の部 優良賞 新冠町 (地独)北海道立総合研究機構 畜産試験場



名誉賞

H黒-93

きたしげやす

北茂安93

◆ 母の父:北乃大福
 ◆ 母の祖父:北国7の8
 ◆ 肥育者:新冠町/新冠町有牧野
 ◆ 枝肉重量:465kg
 ◆ ロース芯面積:64cm²
 ◆ BMS No.12 ◆ 格付:A-5

平茂勝 × 安福(岐阜) × 静



H黒-80

きたひらやす

北平安

安平 × 前照王井 × 前安王井

一般牛の部

最優秀賞

◆ 母の父:平茂勝 ◆ 母の祖父:安平
 ◆ 肥育者:幕別町/山田 貴赦
 ◆ 枝肉重量:465kg ◆ ロース芯面積:81cm²
 ◆ BMS No.11 ◆ 格付:A-5



H黒-211

しげみでみき

茂秀紅葉

平茂勝 × 美津照 × 安福(岐阜)

後代検定牛の部

最優秀賞

◆ 母の父:忠富士 ◆ 母の祖父:第1花園
 ◆ 肥育者:幕別町/二瓶 義則
 ◆ 枝肉重量:498kg ◆ ロース芯面積:70cm²
 ◆ BMS No.10 ◆ 格付:A-5

栗野奈津子が行く! Moo飲んだ? Moo食べた?

北海道内のすばらしい乳製品を食べつくす新企画、第3回目は道東事業所のある中標津町「ラ・レトリなかしべつ」。中標津空港から約1.2km、車でわずか1分。赤い屋根が目印の喫茶と軽食のお店です。取材をさせていただいたのは平日のお昼すぎ。勝手なイメージでは女性のお客さんが多いと思いましたが、男性のお客さんも多く驚きました。代表取締役の近野さんに伺うと客層が幅広く、観光客はもちろん、多くの地元客も足を運んでくれるとのこと。そんな地元中標津に愛されている「ラ・レトリなかしべつ」の看板

メニューは中標津生乳100%! 飲むヨーグルトの【Yogurtee】。コクがあるのに後味がさっぱりしているのでゴクゴク飲みすぎてしまいます! 中標津産の新鮮な生乳本来の香りやうまみを感じられるために添加物は0! 強すぎない程よい酸味なのでヨーグルトが苦手な方や小さなお子様でも美味しくいただけます!



濃厚な飲むヨーグルト



看板メニューの飲むヨーグルトは、新聞にも紹介されました



手作りチーズ



筆者と近野社長

飲むヨーグルトの他に【食べるヨーグルト】や種類豊富な【イタリアンジェラート】、リッチな味わいの【アイスクリーム】、【ソフトクリーム】、ワインや冷酒によく合うチーズ【ブリック・ド・ナカシベツ】などの商品があり、全てお店で手作り! 全国各地からの注文を受けています!

創業のきっかけは、中標津の生乳を使った乳製品を口にした近野さんがその美味しさに感動し、当時の仕事を思い切って辞めたそうです。さまざまな困難を乗り越えて、平成4年、今から22年前に「ラ・レトリなかしべつ」を創業。「中標津で中標津の生乳を使って乳製品を作りたい」「店の名前に「なかしべつ」を入れたい」という近野さんの言葉に地元愛を感じました。そんな地元愛にあふれた「ラ・レトリなかしべつ」に皆さんも一度足を運んでみてはいかがでしょうか?♥



「ラ・レトリなかしべつ」外観



店内

「ラ・レトリなかしべつ」
 〒086-1145
 北海道標津郡中標津町北中9-17
 電話番号 0153-72-0777
<http://www.laiterie.co.jp>

平成26年度(第35回) 家畜(牛)体内受精卵移植に関する講習会修業試験合格者

平成26年9月1日から9月18日の間実施した「牛に係る家畜体内受精卵移植に関する講習会」で、次の方々が修業試験に合格されました。

| | | | | | |
|-------|-------|-------|-------|-------|-------|
| 井上 拓也 | 刈田 宗彰 | 齋藤 哲也 | 恒吉 俊 | 見高 将昭 | 若杉 真吾 |
| 今家 和馬 | 菊地 将仁 | 酒井 優一 | 奈良岡真紀 | 本吉 千穂 | |
| 岡本 奈央 | 工藤 陽太 | 佐々木 都 | 半田 道奈 | 山口 誠司 | |
| 桂 百貴 | 倉田 太郎 | 佐藤 正明 | 細谷 亮太 | 吉井 真 | |
| 上島 翔太 | 操上美嘉子 | 田野 慎二 | 松田 亮介 | 吉田 真悟 | |

精液採取の現場から



毎日のように人工授精にお使いいただく凍結精液ですが、その製造、特に種雄牛から精液を採取する業務については皆さんの目に触れる機会はほとんどありません。そこで今回は当団の種雄牛センターで行なっている精液採取の現場を紹介したいと思います。

現在、当団において精液採取を行っているセンターは十勝清水と北広島の二か所にあり、それぞれのセンターで主にホルスタイン種と黒毛和種の種雄牛を20頭程度、週二日のペースで実施しています。



写真1 精液を採取する瞬間

写真1は、ホルスタイン種の成牛が「擬牝台(ぎひんだい)」に乗駕して、射精した瞬間です。興奮した雄牛は前肢で擬牝台を抱え込みながらジャンプして、ペニスを突き出すと同時に射精します。「牛の一突き」と言われるが如く、精液の採取自体はあっという間です。写真左側にいる採取者(センター職員)が、瞬時に左手でペニスをつかんで右手に持った「人工腔(じんこうちつ)」に誘導し、突きのタイミングを逃さず精液を受け取ります。最近ではインターネットの動画でも牛の交尾場面



種雄牛センター採精場での精液採取風景

を見ることはできますが、雌牛に乗り掛かってから5秒とかかりません。他の動物と比較すると非常に早業だと言えます(馬はおよそ1分、豚は5~20分)。

近年の改良によってホルスタイン種の雄牛も大型化しており、現在では体高が180cm以上ある個体も見受けられます。雄牛は骨も太く、そばに立っているだけでもその迫力は相当なものです。雄牛が勢いよくジャンプするところを見ると、そのすぐ横で待ちかまえている採取者は勇敢としか言いようがありません。写真1の採取者は身長178cmですので、その大きさが想像出来るかと思います。

射精は牛の本能によるものですから、その気にさせれば何回も繰り返すことができます。



写真2 人工腔

しかし体重1.2トンの巨体がジャンプして着地するため、後肢にはかなりの負担がかかります。そのため、一回のジャンプでいかに多くの精液を採取できるか、ということは大変重要となります。



写真3 床固定式擬牝台



写真4 自走式擬牝台

雄牛から精液を採取するため不可欠なアイテムが先に紹介した「人工腔」と「擬牝台」の二つで、これらが雄牛にとって雌牛の代わりとなります。人工腔は硬い筒の内側にゴムを被せたもので(写真2)、名前の通り雌牛の腔を真似るため、筒とゴムの間に40℃程度のお湯を注ぎます。温かみと圧迫感のあるゴムにペニスの先端が触れると「牛の一突き」が起こるのです。射精後の精液はシリコン製の漏斗をつたって先端に付けた試験管に貯まる仕組みです。精液を販売している成牛と調整交配に使われる若牛では、当然ですがペニスのサイズも異なり、人工腔の長さや太さも牛に合わせて変えています。さらにゴムの表面に潤滑剤を塗って滑りを良くしたり、試験管が冷えないように保温カバーをかぶせるなどして、種雄牛が自然な状態でうまく射精できるように、また採取した精液の質が低下しないようにと工夫を凝らしています。

擬牝台は床固定式(写真3)と自走式(写真4)の二種類があり、人工腔との組み合わせで、これらは雌牛だと思こむように雄牛を調教します。床固定式は油

圧で高さを調節し、自走式は前後に動かすこともできます。自走式は高さも低めで乗駕し易い構造になっており、雄牛にとってはより自然で安定のいい体勢ですが、採取者は中に乗り込んで、正面から



写真5 台牛による精液採取

向かってくるペニスに人工腔を当てることになるので、雄牛の横に立つよりも難しい技術です。

更に当団では、生きた擬牝台である「台牛」も使います(写真5)。去勢したヘレフォードは大人しく、骨格も頑丈で幅のある体型のため、大型の種雄牛には理想的な台と言えます。雄牛にも好みや乗駕する際の癖があり、その相性に合わせて体高や腰の幅が様々な牛を揃えています。安定した精液採取を行なうには、複数の台牛を用意して目先を変える方法も有効だと考えています。

このように、精液採取前の道具や段取りの工夫をしているのですが、最も大切な事は、牛の気持ちを十分に理解することです。一頭ずつに癖が

あり、好みも違いますから、雄牛の気分を感じとって、人間側がそれに合わせてやらないとうまくいきません。その雄牛の乗駕までの興奮度合い、乗駕のタイミングと台の抱え具合、ペニスの長さや人工腔を当てる角度、深さ、タイミング、と様々な条件を加味して、ベストな採取が出来るのです。

担当職員は常に種雄牛のコンディションを整え、安定した品質の良い精液を採取し供給することを意識して毎日仕事に励んでいます。外からは見えない特殊な仕事ですが、少しでも身近に感じていただけたら幸いです。

(十勝清水種雄牛センター
伊藤陽輔)